

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

サントリービバレッジ&フード株式会社（証券コード:2587）
（旧 サントリー食品インターナショナル株式会社）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- サントリーグループ（グループ）の中核事業会社として飲料・食品事業を担う。国内ではトップブランドの「サントリー天然水」を筆頭に消費者認知度の高い有力商品を多数抱え、飲料業界で主導的なポジションにある。海外でも欧州、アジア、オセアニア、米州など幅広い地域で事業を展開する。上場会社で一定の独立性を有することから当社自身の信用力を重視しているが、RTD商品の製造・販売やウエルネスブランドの活用といった成長戦略の一体性などを踏まえ、当社の格付ではグループ全体の信用力も考慮している。
- 良好な事業基盤に変化はない。メーカー間の競合やサプライチェーンコストの上昇のほか、インフレ長期化による消費市場への影響などで、事業環境は引き続き厳しい。ただ、国内では多彩な商品展開や消費者の潜在ニーズを捉えた新商品の上市、自販機事業の構造改革などを通じ、高いプレゼンスを維持している。また、海外でも継続的なコアブランド強化やグループ内の連携などにより、着実に業容を拡大させている。近時の業績は事業環境悪化による足踏みも見られるが、中期的に業績は成長軌道で推移するとJCRでは想定している。財務の健全性は高く、利益蓄積によって財務耐久力も向上している。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 売上収益、営業利益は24/12期まで3期連続で過去最高となったが、25/12期は増収ながら、営業利益は1,487億円（前期比7.2%減）と減益を余儀なくされた。原材料コストの上昇や今後の成長に向けたマーケティング投資の増加がマイナス要因となった。26/12期会社計画では売上収益1兆8,260億円（同6.4%増）、営業利益1,550億円（同4.2%増）を予想する。継続的なコアブランド強化や新商品展開、生産面の効率化などを通じ、増益を図る計画である。コスト面などで不透明な事業環境が続くが、業績が大きく下振れるリスクは小さいとJCRではみている。
- 財務構成は良好である。有利子負債は15/12期末で4,000億円超であったが、堅調な業績を背景に着実に削減が進展。22/12期末以降はネットキャッシュポジションとなっている。また、継続的に利益蓄積が進んでおり、25/12期末の所有者に帰属する持分は1.3兆円と十分な財務耐久力が確保されている。現在、オーガニック成長の加速に向けて国内外で生産ラインの新増設や物流機能の向上などを進めている。当面、こうした成長投資が続くと想定されるが、財務状況やキャッシュフロー創出力を踏まえると、財務リスクは限定的に推移すると考えられる。

（担当）殿村 成信・藤田 剛志

■格付対象

発行体：サントリービバレッジ&フード株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,500億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年6月22日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：殿村 成信
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年10月1日)、「食品」(2026年4月1日)、「企業グループの傘下会社の格付方法」(2022年9月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) サントリービバレッジ&フード株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル